

既存ダム等の効果 淀川水系 天ヶ瀬ダム

- 淀川水系天ヶ瀬ダム上流域において、最大時間雨量16mm、降り始めからの総雨量331mm【12日からの前線による降雨を含めた総雨量】
- 今回の出水が発生する前に、予備放流を行い、約540万m³の空き容量を確保。その後、洪水ピークには、890m³/sもの流入量があり、最大約430万m³（京セラドーム大阪3.6杯分*）の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減。

【*ドーム1杯：約120万m³で換算】

- ダム下流の榎尾山地点（宇治市宇治山王町付近）では、約0.3mの水位を低減させる効果があったものと推測。

